

統計だより

県内各市町の統計所管課だより(その19小値賀)

小値賀町 総務課 森 健太郎

【小値賀町の紹介】

小値賀町は、長崎県五島列島の北部に浮かぶ小さな島です。その雄大で美しい独特の景観、海岸美から町のほとんどが西海国立公園に指定されています。また、懐かしい日本の原風景が残る島として「日本で最も美しい村」連合にも加盟しています。

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「野崎島の集落跡」を有し、廃校となった校舎を改修した宿泊施設「野崎島自然学塾村」を中心に手付かずの大自然に癒される島暮らし体験型観光「アイランドツーリズム」など、「ゆったり」も「ワクワク」も思いのまま。

「古民家ステイ」や「地産地消古民家レストラン」で地元町民との交流も合わせて楽しめば、きっと小値賀町の魅力もわかるはず。

小値賀町には、リゾート施設もコンビニもないけれど、自然がある、人情がある、おもてなしがある。それが小値賀町です。



<漁業>

周囲を海で囲まれた小値賀町では、大小の島嶼や天然礁が数多く存在する恵まれた漁場を利用して、ブリ、ヒラス、イサキ等の一本釣り漁業や、採貝藻、曳縄、延縄、刺網、シイラ漬等の漁船漁業が営まれています。

<農業>

肉用牛・水稲を基幹作目として、実エンドウ・メロンなどの施設野菜や、ブロッコリーなどの土地利用型作目が産地化され、規模拡大が図られています。

また、遊休農地や里山を活用した放牧による肉用牛の飼育管理の省略化・低コスト化を推進しています。

<触れ合う時間>

「子どもたちは、島の宝」を合言葉に、「島の子どもたちは、島で育てる」意識を持つ小値賀町。

それは、単に子どもたちへの接し方という枠を超え、地域のコミュニティや島内と島外の交流にも良い影響を与えています。キーワードは「小値賀愛」。

「この島が好き」という気持ちだけには止まらない、「この島、だから好き」という感覚。

人それぞれ、思いや考え方は異なるけれど、「この島に知らない人はいない」という小さな島ならではのあたたかな空気感の中では、個性を尊重しつつも、やはりどこか重なり合う部分があります。

ふるさとへのプライドは、それ自体が小値賀町の魅力となっているのでしょうか。そんな魅力的な町だから、人々は輝き、そんな誇りを持てる町だから、みんな前を向いています。

町民一人ひとりが輝いているから、次代を担う子どもたちも輝けると信じています。

<教育>

平成20年度から、「小中高一貫教育」に取り組んでおり、小学校・中学校・高校が有する教育力を融合させ、教育水準の向上を図りながら、子どもたちの夢の実現が図れる教育環境づくりを心がけ、12年間の一貫した流れの中で子どもたちの成長を見守っています。

平成25年に完成した小中学校の新校舎については、広場を中心に広々とした廊下が全クラス繋がっており、子どもたちに目が行き届きやすい環境となっています。

また、教室と廊下間の壁は全面扉となっていて、子どもたちは開かれた教室で伸び伸びと学習することができます。



【統計について】

令和4年は、「令和4年就業構造基本調査」が行われます。国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料となる重要な調査ですので、皆さまのご協力をお願いいたします。